

事業報告

事業名	平成30年度環境活動団体等交流会
日時・場所	平成31年2月3日（日）・山口県セミナーパーク研修室205
参加者数	46名

環境活動に取り組んでいる団体等が、活動状況や課題等について情報を共有し、課題解決に向けた方途について意見交換を行うことで、活動を一層推進することを趣旨とした上記事業を実施しましたので、概要を報告します。

《概要》

1 事例発表

①【環境活動団体】「山口県東部の環境を守る取組について～アワサンゴの調査・保護とエコツーリズムの推進～」

（発表者：山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会 会長 藤本正明 氏）
周防大島で世界最大規模のニホンアワサンゴの大群生地が発見された経緯や日々の地道な潜水観察から新たにわかった生態の数々、大量斃死や白化現象の原因究明と保護活動等の極めて貴重な取組についての発表があった。さらには自然について体験しながら保全していこうという心を培うエコツーリズムの県内でも貴重な取組についての紹介があった。

②【環境学習指導者】「自然に親しんで学ぶ環境保全」

（発表者：山口県環境アドバイザー 村本禎子 氏）
干潟観察や植物観察を通して、地域子どもたちにゆったりと自然と向き合わせる中で、日頃教室ではできない、喜び、驚き、感動といった情意的な成長を大切にした環境学習講座のあり方についての提言がなされた。

③【環境学習関連施設】「ホテル・自然・人がつながる環境教育」

（発表者：豊田ホテルの里ミュージアム 館長 増野和幸 氏）
生態展示を含む興味深く個性的な当館の施設案内の後、企画展・テーマ展、出前講座、観察会、科学・工作教室、講演会、小学生によるホテルの飼育活動等の意欲的な取組の紹介があった。いずれの活動にも子どもたちが嬉々として参加している様子から、少ないスタッフの皆様の献身的なご苦勞がしっかりと伺えた。

④【センター】「ESDの視点に立った環境学習の推進について」

（発表者：環境学習推進センター 主査 田中勇）
当センターのESD推進への取組視点、交流会開催にあたり環境活動団体にお問い合わせしたアンケートの集計結果及び当センターの様々な取組・事業等について発表した。

2 意見交換会

事前アンケート結果で導き出された、団体の活動を推進するための三つの課題（連

携・協働、活動資金・資材等の支援、人材育成) にどう取り組んでいけばよいのか、具体的な方途について全体で意見交換を行った。

○連携・協働・・・学校との連携は最重要であるが、学校の方からの働きかけがないと難しい。他と協力したいがどこの団体も自分のところだけで手一杯。等

○資金・・・資金確保は困難を極めている。ゆくゆくは行政に頼らない体制を構築し若い人がこれで生計を立てていけるようにならなければいけない。等

○人材育成・・・学生をインターンとして受け入れているが負担が甚大。等

